

スマイリー



今月も新入社員16名の中から4名をご紹介します☆

- 質問 ①出身校 ②ホテル観洋に就職を希望した理由
③趣味・特技 ④フリートーク

おおたけ ゆうこ

大竹 優子
①東北学院大学

②人の役にたつ仕事があったからです。震災後、復旧関係者などへの宿泊施設の開放や、二次避難者の受け入れなど、地域のために前向きに行動する女将さんの下で働くことで、自分自身も成長できるのではと思いました。

③【趣味】音楽鑑賞

【特技】スポーツ全般

④早く一人前になれるよう努力したいと思います。

ちは あきえ

千葉 暁江

①志津川高等学校

②地元をより良くしたいと思ったからです。

③【趣味】DVD鑑賞

④一生懸命頑張ります!!



たかだ

高田みゆき

①宮城学院大学

②美しい景色が気に入り、第一印象から決めていました!!

③【趣味】似顔絵やマンガを描くこと

④明るく元気に頑張ります。館内でお見かけの際は、どうぞ宜しくお願いします。

よねくら ゆうや

米倉 優也

①気仙沼向洋高等学校

②会社見学の時に、海の景色の素晴らしさと、先輩社員のテキパキ働く姿を見て、ここで働きたいと思ったからです。

③【趣味】野球・サッカー

④色々ご迷惑をおかけするかと思いますが、一生懸命頑張りますので、宜しくお願いします。



南三陸災害ラジオ「FMみなさん」



5月17日に開局した南三陸災害ラジオ(80.7MHz)は、生活情報やイベント情報などの地域密着情報を、24時間放送で聴取できます。毎週金曜日10:20~10:50まで「ホテル観洋コーナー」が設けられており、ツイッター班のよーすけさんが新入社員と共にラジオに生出演しています♪
南三陸町へお越しの際は、是非ご聴取ください!



80.7MHz

☆お知らせ☆

南三陸の秋の味覚「秋サケ」が水揚げされ、南三陸キラキラいくら丼もいよいよ旬を迎えます。南三陸キラキラいくら丼は、当館レストラン・海フードBBQでお召し上がりいただけますので、是非南三陸に遊びにいらしてください!!



〒986-0766
宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17
南三陸ホテル観洋 情報誌編集部
TEL 0226-46-2442 FAX 0226-46-6200
Eメール minamisanriku@kanyo.co.jp

☆編集後記☆

先日公園で娘@3才と遊んでいたとき、ピースをした私の指先に、とんぼが止まりました(笑)季節は確実に秋へと移り変わっているんですね。秋は栗拾いやどんぐり拾いなど、子ども以上に楽しみな私…♪ (及川)



【Twitter】リアルタイムで情報発信中!「@kanyo11」

ホームページでスタッフブログ「ときめきピチピチ便り」を毎日更新中!

KANYO



~これで貴方も観洋ツウ~ VOL.41
南三陸ホテル観洋 H23.10月発行

ヤングアメリカンズ ミニワークショップ

SING!! & DANCE!!



The Young Americans mini workshop tour



9月10日・25日の2日間、ヤングアメリカンズのミニワークショップが、当館を会場に開催されました。ヤングアメリカンズとは1962年若者の素晴らしさを音楽を通して社会に伝えようと、ミルトン・アンダーソンによって設立された非営利活動団体。これまで9回のジャパンツアーを実施し、2万5千人以上の日本の子どもたちに「生きる勇気と情熱」を伝えてきました。今回の東北ツアーでは、3時間で歌とダンスを学びながら、自己表現やチームワークの楽しさや素晴らしさを体験できるプログラムが実施されました。上手に踊ることよりも、みんなと一緒に楽しむことが大事なんだ! 参加した子どもたちは、終始笑顔でおもいきりダンスを楽しんでいました♪



宮城県南三陸町 復興市



がんばろう! 南三陸

9月25日、第6回目を迎える「復興市」が、スポーツ交流村を会場に開催されました。”南三陸の復興は復興市から”をスローガンに、全国各地の逸品や、地元業者や県内各地の物産テントが立ち並ぶ市場は、毎回大勢のお客さまで賑わっております。また特設ステージでは、郷土芸能や音楽ライブなどが催され、来場者を楽しませてくれます。震災を語り継ぐコーナー「語り部プロジェクト」では、語り部自らの震災



南三陸復興タコ ゆめ多幸鎮

体験を生で大きくすることができます。3.11のことを忘れ去らないように、二度と同じことが起きないように、町民の体験をきいてみてはいかがでしょうか? 次回の復興市は10月30日(日)開催予定となります。全国各地の優れた逸品と、南三陸町民の元気な笑顔に、復興市で会いましょう!

町内を見学してきました！

2011.9.17 スタッフブログ「ときめきピチピチ便り」より

最近お客様から「震災時の話を聞きたい」とか、「実際に町内を見てまわりたい」という要望が多数あります。そこで今回、お客様に詳しく案内できるようにと、(株)三陸新報社の玉谷部長にガイド役をお願いし、私たち社員が町内を見学してきました。最初に向かったのは南三陸町役場に併設されていた防災庁舎です。建物を前にみんなで手を合わせ、震災時の状況を玉谷部長に説明していただきました。私たちの後にも、バスでいらした方々がおり、ニュースや新聞で頻繁に取り上げられていたこの建物には、毎日絶えず人が訪れているようです。巨大津波にのまれながら奇跡的に人が助かった庁舎。たくさんの尊い命が犠牲になってしまった庁舎。この場所に来ると複雑な思いが込み上げてきます。次に向かったのは高台にある志津川中学校。ここからは志津川の町を見渡すことができます。あの場所には何があったか、震災前の風景が目には浮かびました。ここから町を眺めると、本当に何もかも流されてしまったんだなあ実感します。そして次に向かったのは戸倉小学校。白い校舎の隣に建つ鉄骨は体育館。体育館は3月12日の卒業式に合わせて、落成式を終えたばかりでした。鉄骨に絡まったカキの養殖ブイが、生々しく残っていました。震災当日、戸倉小学校にいた子どもたちと戸倉保育所にいた子どもたちは、近くの高台にある神社に避難しかろうじて無事でした。山の傾斜や階段を昇ることは、小さい子どもたちにとって、とても大変だったと思います。雪が降る寒い中、みんなで歌を歌ったりして一晩を過ごしたそうです。本当に助かって良かった…。



防災庁舎



志津川中学校



戸倉小学校



子どもたちが避難した神社

現在当館には、町の復興に向けてボランティアでいらっしゃる方、各行政団体の視察でいらっしゃる方などが多くご宿泊されています。私たちがこの地で、震災時の体験を伝えることが、今後の防災活動に必要な教訓なのだと思います



秋サケ漁はじまる

東日本大震災から200日目となる9月26日、志津川魚市場に、県内一の水揚げ高を誇る秋サケが初水揚げされました。例年ならば100隻の漁船が出漁するのですが、今年は津波で多くの漁船が流出したため、わずか19隻の出漁となり水揚げ総量はおおよそ1t。

7月のタコ漁に続き秋サケ漁が、町の復興の足がかりになることを期待しています。



南三陸復興やさい！ GREEN FARMERS ASSOCIATION PROJECT (農業プロジェクト)

南三陸町の復興への思い…

社団法人「O.G.A F O R A I D」は被災地支援のために作られた一般社団法人。多国籍メンバーで構成されたこの団体は、震災直後から南三陸町で、救援物資の調達や被災者の心のケアなど、ボランティア活動が続けてきました。町民との交流の中で、「今、この町に必要なのは外に出て働く場を提供すること。」そう思った代表のアンジェラは、遊休農地を活用した農業に目をつけました。荒れ果てた土地を開墾し、苗を植え農作物を育てることで、町民の暮らしに「働く習慣や喜びをもたらす。」それが、このプロジェクトの目的です。

「南三陸町を元気にしたい！」そんな思いから生まれたのが”南三陸復興やさい”です。南三陸産の新鮮獲れたて野菜は、当館売店・海フードBBQで販売しておりますので、是非一度ご賞味くださいませ!!

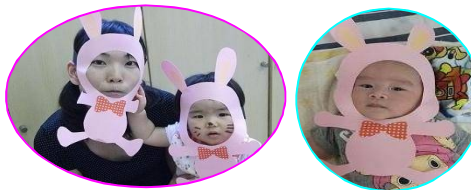


ホテル観洋託児所

マリソールだよ(*^▽^*) お月見会



9月12日は中秋の名月。みんなで可愛いウサギに変身して、お月見会をしました。あんなウサギやこんなウサギ…みんなとっても可愛いでしょ♪歌やダンスで盛り上がりとっても楽しいお月見会となりました。



機関車に乗って

愛知県桜井幼稚園のみなさんが遊びに来てくれました!! お庭にミニ機関車が登場。子どもたちは大喜び♪楽しい一時を過ごしました。

